



ツガルツナガル通信 vol.06

■ 弘前プラザホテルに期間限定で「桜ミクコラボレーションルーム」誕生！

弘前市及び函館市への相互誘客や周遊観光の促進等を図るため実施される「ひろはこ春の観光キャンペーン 2024」に併せて、弘前観光コンベンション協会と当法人が連携して「弘前プラザホテル」内に期間限定で「桜ミクコラボレーションルーム」を造成しました。

宿泊可能期間は本年 4 月 12 日(金)～5 月 31 日(金)で、初音ミク公式ブログ&SNS、ひろはこ特設ページ&SNS、関係事業者 SNS 等で事前に宣伝告知を実施しました。

3 月 11 日(月)21 時～予約受付を開始すると 40 分後には完売となり、改めて桜ミクの人気・ひろはこ事業への期待を感じることができました。

※青森県観光企画課からの委託事業である「宿泊施設と連携した滞在プログラム開発業務（弘前地域）」を活用して実施



■ この春オススメの「ツガルツナガル体験」コンテンツ！

「ツガルツナガル体験」の中から、この春特にオススメの体験商品をご紹介します。いずれも設定日が決まっておりますので、ぜひ HP と併せてチェックしてみてくださいね！

弘前シードルダイニング（弘前市りんご公園）

りんご畑内で「シードル×津軽あかつきの会」の組み合わせでシードルと津軽ならではの食のマリアージュを提供します。

【設定日】

4月27日(土)/5月18日(土)/6月1日(土)

※各日 13 時～

※秋も開催します

【提供事業者】

弘前市りんご公園

【料金】

1 名様：10,000 円



蔵で蔵出し酒の会（黒石市・松の湯交流館）

「鳴海醸造店」の杜氏の解説を聞きながら、酒と「和風レストラン御幸」の料理に舌鼓を打つイベントです。

【設定日】

4月20日(土)/5月25日(土)/6月29日(土)

※各日 18 時～20 時

【提供事業者】

横町十文字まちそだて会

【料金】

1 名様：6,000 円



■ フェニックス塾で気づきを得た「オール東北」観点での観光振興策



一般社団法人東北観光推進機構が主催する「フェニックス塾」に、約1年間にわたって当法人スタッフの三浦が参加し、令和6年3月8日を最後に全8回の研修を修了しました。

同塾は、平成28年より国内外からの交流人口の拡大による東北地域の活性化を目的に、「オール東北」という観点で観光振興策を企画・立案する構想力と、それらを実践する行動力を持った観光人材を育成することを目標に実施されているものです。

令和5年度の第8期フェニックス塾には、東北管内で主に観光業に従事する方々50名が参加しており、東北6県と新潟県を順に巡って各地で実施されました。

【第8期フェニックス塾 各回開催内容】

回	開催日	開催地
第1回	令和5年6月19日(月) ※入塾式	宮城県仙台市
第2回	令和5年7月21日(金)	山形県山形市
第3回	令和5年9月14日(木)・15(金)	秋田県鹿角市
第4回	令和5年10月20日(金)	新潟県新潟市
第5回	令和5年11月16日(木)・17日(金)	青森県弘前市
第6回	令和5年12月22日(金)	岩手県盛岡市
第7回	令和6年1月19日(金)	福島県福島市
第8回	令和6年3月8日(金) ※修了式	宮城県仙台市



■フェニックス塾を終えて：三浦 至学（つがる市より出向派遣）

同塾を通して観光に関する知識がより一層深まったのはもとより、【地元にある体験コンテンツを見つめ直すことの重要性】を強く意識するようになりました。

地元住民から見ると当たり前存在するコンテンツも観光客から見たら非日常であり、そこへさらに「付加価値」をつけることで地方であっても「選ばれる観光地」になり得るのです。

例えば私の派遣元であるつがる市で考えてみると、柏地区に「日本最古のりんごの樹」があります。

これをただ見学できるコンテンツとしておくだけでなく、「青森県指定天然記念文化財である樹齢140年以上のりんごの樹から収穫体験ができる」といった「付加価値」をつけてみる——そうすることで、つがる市だからこその特別な観光コンテンツになる可能性が十分にあります。

こうした同塾で得た気づきを実務へと活かし、津軽圏域14市町村の観光地域づくりに役立てたいと思っています。また、ここで知り合った貴重な人脈も大切に、お互い情報共有を図りながら、東北一帯となって観光を盛り上げていけるよう努めてまいりたいと思います。

令和5年度のチーム ichi が終了しました



×



一般社団法人

Clan PEONY 津軽

昨年度に引き続き、今年度もチーム iChi を実施いたしました。

今年度は大鰐町をフィールドとし、参加者の皆様と地域の資源や町の施策を学びながら「大鰐町で何かできること」を見つけていくことを目指して取り組んでまいりました。

今回メインで取り組んだのは「地域資源の洗い出し」です。

一言に「地域資源」といっても、いろいろなものがあります。観光地であったり、特産品であったり、人や商店、過去にあったものや、今後あったら良いなと思うものも含まれます。

各回のワークショップでは、上記に加えて特産品やサービスにおける調達・製造から販売・消費までそれぞれ担える事業者の把握や、自治体の各政策の理解、消費者の利用シーンの想像まで実践的な取り組みにつながるようなプログラムを実施しました。

また観光人財の育成にもつなげるべく、参加者の皆様には本年度の活動を通じて、地域で何かをする際の基本的な手順やその手法の一例を学んでいただけたかと思えます。加えて、観光へ取り組むうえで大切なターゲットやペルソナの考え方なども学びました。

大鰐町での取り組みはまだ道半ばではありますが、今年度の取り組みに関して皆様と共有できればと思えます。



■ 日本政府観光局（JNTO）職員から見た「津軽」の魅力と課題



×



観光地域の現場で活動する DMO への理解を深めることを目的として、本年 1～2 月の 2 ヶ月間にわたって JNTO の末 遥奈（すえ はるな）さんが当法人へ研修派遣でいらしていました。

期間中は、インバウンド（＝訪日外国人旅行）視点でのアドバイスをもらうことを目的として、津軽圏域 14 市町村を当法人がご案内し、各自治体の観光施設の見学や「ツガルツナガル体験」のコンテンツへの参加を積極的に行っていました。

研修後に作成された報告書と当法人が主催した地域事業者向けの連絡会内での講演内容の一部を抜粋してご紹介いたします。

【ClanPEONY 津軽 連絡会（2月2日開催）の講演、研修派遣報告書より内容抜粋】

- ◆人口減少が進むのに比例して定住人口 1 人当たりの年間消費額も減少。人口規模が小さい市区町村ほど人口減少率が高いため、地方こそ観光誘客による経済の活性化が有効。
- ◆2023 年の訪日外国人客数は合計で 2,506 万 6,100 人、2022 年比で 6.5 倍、コロナ前の 2019 年比でも約 8 割まで回復。2019 年からの傾向として東アジアからの訪日者数が半数以上を占める。2023 年は欧米豪・中東・北欧地域からの割合が増加。
- ◆東アジア・東南アジア地域では大都市（東京・大阪・京都）以外の地方エリア訪問希望率は 8 割以上と高い。インド・メキシコを除く欧米豪・中東地域では地方エリア訪問希望率は 5～7 割程度。
- ◆地方エリアへの訪問意向を高めるものは「その土地ならではの飲食や文化を楽しむこと」に加え、「四季の景色が楽しめること」も重要。津軽地方は飲食・文化・自然が揃っており魅力は十分。実際に選ばれる観光地になっていくためには、「付加価値」と「ストーリー」が必要不可欠。
- ◆高付加価値化＝単にラグジュアリーなコンテンツというわけではなく、例えばアートや日本の伝統文化を体験できる特色ある施設での宿泊、世界遺産での自然体験、著名な職人との交流など手法は様々ある。今あるものを見直すことが重要。津軽地方でいうと白神山地はとても強い。
- ◆体験コンテンツはどれも興味深くとても楽しかったが、背景の説明が不足していることが多いと感じた。例えば「白神山地とは地域の人々にとってどのような存在なのか」「こけしとは何か、何故津軽だと黒石市で有名なのか」「雪室りんごにする理由は」といった前提をストーリー立てて説明することでより特別な体験になる。

【日本政府観光局（JNTO）とは】

1964 年の設立以来、訪日外国人旅行者の誘致に取り組んできた公的な専門機関。現在は世界 26 カ所に海外事務所を持ち、日本へのインバウンド・ツーリズムのプロモーションやマーケティングを行っている。

▶ JNTO 公式 HP：<https://www.jnto.go.jp>

■ 「ジチタイワークス」にツガルツナガル体験を取り上げて頂きました！

発行部数 11.5 万部、全国 1788 自治体で閲覧されている行政マガジン「ジチタイワークス」Vol.30（2024 年 2 月発行）の「観光・地域活性化」ページに、当法人の「ツガルツナガル体験」の仕組みについて取り上げていただきました。

「ツガルツナガル体験」は WEB 上で予約から決済まで 24 時間オンラインで対応できるのが最大の強みであり、海外の方が利用する OTA（=オンライン上の旅行代理店）に商品を掲載する際の在庫連携も可能です。記事ではこういったシステム自体の詳細だけでなく、導入後の実例などについても掲載されております。



取材に応じた当法人スタッフの渡邊・三浦が、仕組みを活かして津軽地域の魅力をマネタイズしていきたいという意気込みや将来の展望も語っております。ぜひ以下リンク先よりご一読ください。

▶ [ジチタイワークス WEB：【津軽ならではの旅ナカ体験を集約！地域全体で魅力を発信し観光消費額アップへ。】](#)

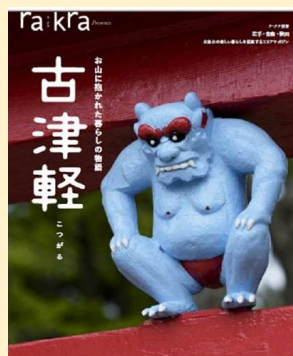
■ 「古津軽」の魅力が一冊に。コンセプトブック販売開始！

「古津軽」コンテンツの魅力を一冊に収録したコンセプトブックが、3 月 20 日(水・祝)より販売開始となりました！青森県、岩手県、秋田県内の書店、東京都内、仙台市内の一部書店、rakra 公式ホームページ、Amazon にてお求めいただけます。

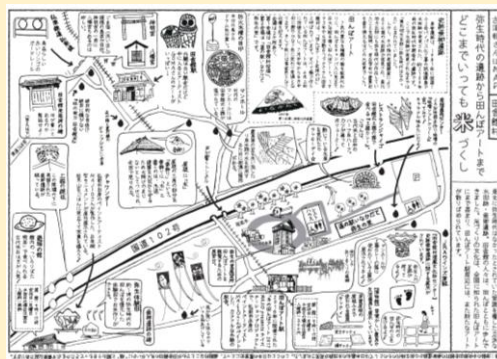
「古津軽」の世界観を感じて楽しめるだけでなく、津軽エリアへの旅を計画するときにも役立つ充実の一冊となっております。ぜひ津軽旅行のお供にいかがでしょうか。

【収録内容】

お岩木山・暮らしとともに生きるカミサマたち・マタギ・祭り・実りの美景・美味伝承 ほか



▶ [購入ページ](#)



▶ [古津軽公式サイト](#)
グッズ&ツアー案内ページです。
手づくりマップ(左記参照)のダウンロードも可能です。

■スタッフが全国のDMOへ実地研修に行ってきました

「観光地域づくり法人体制強化」のためのDMO実地研修が行われ、当法人からも希望者が【(株)かまいしDMC(岩手県釜石市)】【(一社)キタ・マネジメント(愛媛県大洲市)】【(一社)ハケ岳ツーリズムマネジメント(山梨県北杜市)】【(一社)豊岡観光イノベーション(兵庫県豊岡市)】にて開催された研修に参加いたしました。その中から【かまいしDMC】【キタ・マネジメント】での研修内容をご報告いたします。

【(株)かまいしDMC(岩手県釜石市)】

自走式DMOの先駆的存在である「かまいしDMC」では、「地域の稼ぐ力」と「住民による地域への誇りと愛着を醸成すること」を学ぶWSや、財源になる高付加価値体験プログラムに参加しました。

元々は鉄と漁業で栄え、観光振興とは縁遠かったという釜石市。2019年ラグビーW杯の釜石開催をきっかけに同社が設立されて以降、観光に関するマーケティングを徹底して行い、修学旅行や企業研修、体験ツアー等を積極的に受け入れ、地域も自社も潤う「観光のまち」としての仕組みを確立させました。

造成したプログラムを持続可能な観光へ繋げるには、地域・参加者にとっての【有益性】、補助金がなくても持続できる【収益性】、地域から必要とされ繰り返し実施できる【再現性】、移動距離の障壁を超えられる【誘因性】、そして口コミに繋がる【満足度】、この5つの観点が重要というお話が印象的でした。



【(一社)キタ・マネジメント(愛媛県大洲市)】

キタ・マネジメントは、日本初の「城泊(キャッスルステイ)」を実現した「大洲城」を保有する愛媛県大洲市に所在し、地域の歴史文化などを観光資源に利活用する分野において先進的な団体です。

研修テーマは、「DMOを核とした産官金連携による観光まちづくり」について。同法人はプロパー職員に加え、金融機関と市役所からの職員派遣、連携している宿泊事業者からの職員派遣で成立しており、

①官民連携の責任者を設定する ②金融機関と連携する ③未来に投資する ④民間を交えた戦略をつくる ⑤戦略を全体管理するプロジェクトマネージャーを設定する ⑥中間組織(ピーグル)をつくる ⑦パートナーには互いにリスクをとる法人を選ぶという6つの考えからこの構成に至ったそうです。

当法人としても津軽地域を持続可能な観光地域として目指す中で、組織体制のあり方も同時に検討してまいります。



■データとにらめっこ ～数字から読み解くツガル～

第2回：津軽エリアへの訪問者は誰？

東北観光推進機構が提供している、東北観光 DMP というサービスを用いて、2023 年の津軽エリア 14 市町村への訪問者について確認してみました。まずは以下の表をご覧ください。

【1】訪問者の居住地							【2】居住地毎の訪問先の傾向		
種別	通年		8月		2月		秋田県民		
	居住地	割合	居住地	割合	居住地	割合	1位	2位	3位
1位	秋田県	17.12%	東京都	16.11%	秋田県	25.43%	弘前駅	弘前公園	大鰐温泉郷
2位	東京都	13.29%	秋田県	11.47%	東京都	13.34%	道の駅いかりがせき	弘前公園	大鰐温泉郷
3位	宮城県	8.89%	神奈川県	10.05%	宮城県	9.24%	道の駅ひろさき	津軽藩ねぶた村	津軽藩ねぶた村
4位	神奈川県	7.62%	宮城県	8.79%	岩手県	7.85%	大鰐町地域交流センター「鰐come」	大鰐温泉郷	弘前市まちなか情報センター
5位	岩手県	7.51%	埼玉県	8.17%	神奈川県	6.51%	大鰐温泉郷	津軽SA(上り線)	旧弘前市立図書館
6位	埼玉県	6.16%	千葉県	5.77%	北海道	5.35%	道の駅つるた	津軽SA(下り線)	五所川原駅前
7位	北海道	5.47%	岩手県	5.67%	千葉県	4.40%	津軽SA(下り線)	青森銀行記念館	青森銀行記念館
8位	千葉県	4.64%	北海道	4.93%	埼玉県	3.88%	旧弘前市立図書館	立佞武多の館	立佞武多の館
9位	愛知県	2.93%	愛知県	3.41%	大阪府	3.04%	立佞武多の館	弘前市まちなか情報センター	立佞武多の館
10位	大阪府	2.86%	茨城県	2.40%	愛知県	2.85%	弘前市まちなか情報センター	大鰐温泉駅	弘前れんが倉庫美術館
							道の駅ふかうら	中央弘前駅(弘南鉄道)	中央弘前駅(弘南鉄道)
							津軽おのえ温泉	百沢温泉郷	百沢温泉郷
							黄金崎不老ふ死温泉	青森スプリング・スキーリゾート	青森スプリング・スキーリゾート

※出典元：東北観光 DMP（データ提供元：株式会社 Agoop）

※GPS データを利用し、20 分以上同じ箇所に滞在した来訪者のデータであり、宿泊者数とは異なるものです。

【1、訪問者の居住地】

- ・通年で津軽エリアへの訪問は【秋田県、東京都、宮城県】の順で多く、【秋田県+岩手県+宮城県（緑色）】で約33%、【東京+神奈川県+埼玉県+千葉県（黄色）】で約31%を占めている。
- ・宿泊の繁忙期である8月及び閑散期の2月を抽出した際にも構成都道府県に大きな変動はないが、観光シーズンは首都圏の割合が高くなる一方、閑散期は近隣県の割合が高くなる傾向にある。

【2、居住地毎の訪問先の傾向】

- ・秋田県からの来訪者の訪問スポットは、【道の駅いかりがせき】や【鰐 come】などの道の駅や温泉（黄色）が多く、車を使用したうえで地元民も日常的に訪れるスポットへ行く方が多い傾向が読み取れる。
- ・一方、東京都からの訪問者は【弘前公園】や【津軽藩ねぶた村】、【立佞武多の館】など、公共交通機関で訪れやすい観光スポットが上位に位置している。
- ・上記からシーズンや立地に応じてエリア（自施設）に呼び込みやすいターゲット像が見えてくる。

今回のデータ引用元である東北観光 DMP では、訪問者の「性別」「年代」「居住地」はもちろんのこと、「自施設の前後にどんな施設を訪れているか」等の情報も確認ができますので、自施設のお客様像を確認したい方はお気軽にクランピオニー津軽スタッフまでご相談ください。

■今月のおすすめ！ツガルツナガル体験

今月は、「花見シーズンにできる津軽のアクティブ体験」をご紹介します！
体験商品一覧は、ホームページからご予約いただけます。

※ 各商品タイトルをクリックすると予約ページへ飛びます。



■猿賀公園レンコン掘り体験

猿賀神社のレンコン収穫は例年5月上旬の時期にしかできない貴重な体験となっております。子どもから大人まで夢中になれる体験ですのでぜひこの機会に挑戦してみてください！

【実施場所】平川市猿賀神社鏡ヶ池

【問合せ】0172-40-2231

【提供事業者】平川市観光協会

【料金】1名様：3,000円



■ひろさき城下町ポタリングツアー

ポタリングとは、自転車で散歩するようにゆったり歩くことを意味します。このツアーでは弘前公園を中心に、弘前の歴史を感じながらのんびり走行していきます。一緒に春の気持ちの良い空気を満喫しましょう。

【実施場所】弘前公園ほか

【問合せ】0172-78-5090

【提供事業者】クリエイティブアート 101 デザイン

【料金】1名様：20,000円(2~5名の場合、料金がお得に！)



■弘前公園中濠観光舟

船頭が竹竿で漕ぐ「和船」でお濠からさくらを眺めることができます。弘前公園の桜をいつもとは別の視点から見る優雅な時間を過ごしてみませんか。

【実施場所】弘前公園東内門石橋付近

【問合せ】0172-35-3131

【提供事業者】弘前観光コンベンション協会

【料金】大人 1,500円、小学生 1,000円

※就学前は無料(大人1人につき1人まで)

《ツガルツナガル体験 掲載イメージ》



▶ ツガルツナガル体験一覧は【[こちら](#)】をクリック！(「TimeTripTSUGARU」内ページ)

■【今月のおすすめ！十四津軽つながるサービス参加店】

アンケートに答えて会計時に回答画面を見せると、“ちょっとお得”なサービスを提供する「十四津軽つながるサービス」。参加店の中から、「地元のおすすめホテル」をご紹介します！

●ブロッサムホテル弘前（弘前市）

【住 所】弘前市駅前町 7-3
【問合せ】0172-32-4151

★ご宿泊時に粗品進呈。

●星と森のロマンピア（弘前市）

【住 所】弘前市水木在家字桜井 113-2
【問合せ】0172-84-2288

★ご宿泊の方にご夕食時ワンドリンクサービス。
★日帰りの方は入浴大人 100 円引。小学生 50 円引。

●弘前パークホテル（弘前市）

【住 所】弘前市土手町 126
【問合せ】0172-31-0089

★ご宿泊時にりんごジュース 1 本プレゼント。

●パークイン五所川原エルムシティ（五所川原市）

【住 所】五所川原市大字唐笠柳字藤巻 66-12
【問合せ】0173-34-8910

★ご宿泊時に通常 10 時チェックアウトを 11 時チェックアウトに延長。

●スマイルホテル弘前（弘前市）

【住 所】弘前市土手町 73-2 スマイルホテル弘前
【問合せ】0172-37-5550

★チェックイン時にミネラルウォーター 1 本進呈。

●ホテルサンルートパティオ五所川原（五所川原市）

【住 所】五所川原市田町 181
【問合せ】0173-33-3333

★レイトチェックアウト（11 時）とペットボトルの水 1 本プレゼント。

●弘前ブラザホテル（弘前市）

【住 所】弘前市代官町 101-1
【問合せ】0172-35-0345

★ご宿泊時にりんごジュース 1 本（195ml）進呈。

●ホテルサンルート五所川原（五所川原市）

【住 所】五所川原市布屋町 25
【問合せ】0173-34-8811

★ミネラルウォーター 1 本プレゼント（ご宿泊のお客様に限る）。

●弘前東栄ホテル（弘前市）

【住 所】弘前市土手町 166
【問合せ】0172-33-8111

★ご宿泊時に粗品進呈。

●津軽のお宿南田温泉ホテルアップルランド（平川市）

【住 所】平川市町居南田 166-3
【問合せ】0172-44-3711

★ご宿泊の方にはご夕食時に当館オリジナルりんごジュース 1 杯プレゼント。

※「★」＝各店舗の十四津軽つながるサービスの内容です。

※参加店一覧は【[こちら](#)】をクリック！（「TimeTripTSUGARU」内ページ）

【発行元】 一般社団法人 Clan PEONY 津軽

■TEL : 0172-88-6090 / FAX : 0172-88-6091

■メール : cptsugaru@gmail.com

■ホームページ : <https://www.trip-tsugaru.com/>

■Instagram : https://www.instagram.com/clan_peony_tsugaru/
